平成16年5月20日　発行

IUHW

vol. 55
May
2004

The gazette of International University of Health and Welfare

発行：学校法人国際医療福祉大学
編集：広報委員会　☎0287-24-3000
ホームページアドレス：http://www.iuhw.ac.jp

特　集

平成十六年度学部入学式・大学院入学式

最年少18歳、最高齢67歳の〝共に進むこの道〟

平成十六年度入学式

学長式辞
誓いの言葉

◆平成16年度学科別新規着任教員紹介

◆言語聴覚学科長就任あいさつ
藤田郁代

◆連載エッセイ「見・聞・録」第5回
「英検一級の値打ち」
大学院教授・国際部部長　長谷川豊

◆国際医療福祉大学大学院公開講座
「乃木坂スクール」が開講

Topics
2つの公開講座を開講中：黒岩祐治氏プロデュース公開講座「いのちの社会学」，平成16年度「イブニングタイム公開講座」／国際協力―中華人民共和国リハビリテーション専門職養成プロジェクト／第2回医療経営戦略セミナー開催―医療経営管理学科主催―／中国リハビリテーションセンターにおける研修報告／薬学部棟の起工式が行われる／ボランティアサロンを開設／オンライン英語学習がスタート／国際医療福祉大学教育後援会名簿／

表紙／古寺哲也さん（医療福祉学科1年）と、新津由香さん（作業療法学科1年）

最年少18歳、最高齢67歳の共に進むこの道へ

平成十六年度
学部入学式
大学院入学式

2004.4.6

graduation day

四月六日、国際医療福祉大学本校において、平成十六年度学部入学式、並びに大学院入学式が行われた。当日は、新入生と、多数の出席いただいた保護者の方々で、広い体育館も文字通りの満席となった。

開式の辞に続き、コーラス部が、先の三月十二日に行われた卒業式で初披露された完成したばかりの本学校歌「未来への扉」を斉唱。新入生始め出席者も、手元の歌詞と譜面を見ながらの校歌斉唱で幕を開けた。

谷修一学長、高木邦格理事長の式辞に続き、来賓として、大田原市助役大武秋雄様、栃木県保健福祉部長鈴木康裕様から祝辞をいただいた後、祝電が披露された。（四ページに学長式辞を掲載）

続いて、学部新入生代表の作業療法学科の新津由香さん（表紙の人）と、大学院新入生代表の平野大輔さんが「誓いのことば」を述べた。（五ページに誓いの言葉を掲載）最後に高木理事長が、本学の教育研究活動の中心となる、学長、大学院長、学部長、学科長の先生方を一人ひとり紹介、式を終えた。

平成十六年度学部入学生

保健学部	
看護学科	一二八名
理学療法学科	一〇五名
作業療法学科	一〇三名
言語聴覚学科	一〇一名
視機能療法学科	五〇名
放射線・情報科学科	一二八名
保健学部計	六一五名
医療福祉学部	
医療経営管理学科	一二九名
医療福祉学科	
総合社会福祉コース	一一一名
介護福祉士コース	五〇名
医療福祉学部計	二九〇名
総計	九〇五名

平成十六年度大学院入学生

修士課程	
保健医療学専攻	八〇名
医療福祉経営専攻	四〇名
博士課程	
保健医療学専攻	三三名
総計	一五三名

interview

新入生歓迎インタビュー
新一年生、新津由香さんと古寺哲也さんに聞く

入学式で学部新入生代表として「誓いの言葉」を述べた作業療法学科一年の新津由香（ニイツユカ）さんと、最高齢・六七歳の新入生、医療福祉学科一年の古寺哲也（フルデラテツヤ）さんのお二人に、喜びの声と、新入生としての抱負を聞いた。

■入学式を終えたばかりのお二人ですが、入学式で新入生代表として「誓いの言葉」を述べるという大役を果たされた新津さん、いかがでしたか？

新津　大学から「誓いの言葉」を述べて下さい、という電話が自宅に来たときには本当に驚きました。「え、私が？」という思いでした。入試も、落ちたかもしれないと思っていたぐらいでしたから（笑）。でも、生涯に一度しかないことですから大変光栄に思っています

■さて、こうした言い方は大変失礼かもしれませんが、古寺さんは、最高齢・六七歳の新入生ということですが、大学で学ぼうと思われたきっかけは何でしょう。

古寺　私は、去年の十二月二十六日まで、診療放射線技師として勤めておりましたが、「障害を持つ家族の会」に参加しておりましたときに、その席上にこちらの大学の学生さんがいらっしゃったのです。いつも見るメンバーと違いますのでおうかがいしたところ、「精神保健福祉士の実習で来た」と言うのですね。私は、そういう資格があることを初めて知り、私でも勉強すれば、（精神保健福祉士に）なれるのであればと思い、大学に問い合わせましたところ、早速オープンキャンパスの案内が送られて来ました。そして、去年の八月三十日にオープンキャンパスに参加して、医療福祉学科を受験しようと決めました。

新津由香さん

■実際に受験なさってみていかがでしたか？

古寺　ええ、ところが、試験のとき、周りがみんな若い人ばかりなので、場違いなところに来てしまったなぁと（笑）。

ダメでもともとと思い受けたのですが、面接で先生が「あなたは私より年上ですね」とおっしゃられまして（笑）。ああ、これはもうダメだ、と思っていましたら、一月に合格の知らせをいただきまして、びっくりしました。

■新津さんが、作業療法学科を選んだ理由は何ですか。

新津　祖父が脳梗塞で倒れたんですが、そのリハビリをしている姿を見て、作業療法士になろうと決めました。結局祖父は、何度も脳梗塞を繰り返して、数年前に亡くなってしまったんですけど……。

実は、それまでは、経済学部に行こうと思ってたんです。叔父が税理士だったので（笑）。

■進路を経済学部志望から作業療法学科へと一転なさったわけですが、進路変更は大変でしたか？

新津　知り合いに作業療法士がいたので病院で見学させてもらったり、高校の看護実習に参加して、実際に体験させてもらったりもしました。

（大学選択に当たっては）インターネットの「検索」で「作業療法学科」と入力し、作業療法学科のある大学を調べ出し、パンフレットを全部取り寄せたんです（笑）。それで、実習先の病院の作業療法士の方に、「どこの大学がいいでしょうか」とうかがったら、国際医療福祉大学がいいでしょうと推薦してくださったんです。その方はこの大学の出身ではないのですが、実習先でここの大学の学生と一緒になって話をし、他の大学と比べても国際医療福祉大学は良さそうだと思ったのだそうです。

古寺哲也さん

■古寺さんは精神保健福祉士、新津さんは作業療法士と、目的がはっきりあって入学していらっしゃいますが、本学の特徴は、将来の目的を持って入学して来るという点が、他の一般大学と違うところかと思いますが、その点はいかがでしょう。

古寺　今、お話をうかがっていて、新津さんのようなご経験をされた方は素晴らしい作業療法士になると思います。やはりご家族にそういう方がいらっしゃる方は、目的がはっきりしていて、また思い入れが違いますものね。

若い玉石の中に混じって、私は多少苔が生えているかも知れませんが、自ら切磋琢磨して、またみなさんに磨いていただいて、少しでもお役に立てるような人間になれればと思っています。

■最後に、勉強以外に何か大学でやってみたいことはありますか？

新津　まず、友だちをつくりたいですね。

古寺　私も、年の差こそありますが、たくさんのいい友だちをつくりたいと思っています。

■本日は、ありがとうございました。

＊　＊　＊

取材後、編集部に古寺さんから手紙が届いた。

「――入学してから瞬く間に三週間が過ぎてしまいました。何もかもが新鮮で、そして難しく、無我夢中の毎日でした。素晴らしい先生方に恵まれ、友だちも心優しい若者が大勢いて、嬉しくなりました。この大学に入って本当に良かったと思う毎日です。机の上から大分離れておりましたので、友人に追いつけるよう努力いたします。この大学に、そして当局の皆様方に心から感謝を捧げます。」

「心優しい若者」、「友だち」と、共に進むこの道へは、六七歳の一年生にとって、校歌の歌詞そのままに光り輝いているようだ。

（取材・文：編集部・写真：加藤文哉）

学長式辞（抜粋）

二〇〇四（平成十六）年四月六日

▼まず、多くの皆さまが本学を選ばれ、保健・医療・福祉の専門職を目指されるという選択をされたことに対し、教職員を代表して皆さまを心から歓迎し、お祝いを申し上げます。また、私どもの大学が、日本政府の国際医療技術協力の一環として取り組んでおりました中国リハビリテーションセンターから派遣された方々のほか、ミャンマー、韓国など、学部・大学院を合わせて十八名の留学生の皆さまを歓迎いたします。

▼さて、この国際医療福祉大学がどういう大学か、本学の学生になられた皆さんに自分の問題として考えていただくために、本学の特色について少し話をしておきたいと思います。

▽国際医療福祉大学は、医療や福祉の高度化に伴い、いわゆるコメディカルといわれる医療や福祉の専門職の地位の向上と高度な教育、そして将来における優れた指導者が必要という時代の要請に応える大きな夢を持って九年前に開学いたしました。

▽学生の教育に関しては、開学以来、人間中心の大学であること、社会に開かれた大学であること、国際性を目指した大学であること、この三つの基本理念をすべての学科に共通するものとして掲げております。この基本理念の柱とも言うべき大切な理想が、「共に生きる社会」を築くということであります。「共に生きる社会」とは、病気の人も、障害を持つ人も、健康な人も、お互いの人間としての尊厳を認めあっている社会です。

▼さらに、本学の教育で重視していることは臨床教育であります。そのために大学構内および周辺地区に医療福祉施設を多数整備しております。具体的には、大学のキャンパス内には重症心身障害児、身体障害者のためのリハビリテーションセンターおよび言語聴覚センター、そして痴呆老人のためのグループホームを塾設しております。また、隣の西那須野町には病院、老人保健施設、特別養護老人ホームなど、さらに静岡県熱海市には、医学部以外の大学としては初めての本格的な附属病院となります附属熱海病院があります。このような医療福祉に関する幅広い関連施設を通じて、学生の皆さんの臨床教育の充実を目指すとともに、教員の先生方にとっては研究や臨床技術の研鑽の場ともなっております。

国際医療福祉大学学長　谷　修一

▽学生の皆さんにとっては、教育の現場の中に医療や福祉の現場があるということによって、障害者や病気の方と直接身近に触れ合い、将来の医療福祉職へのより明確な動機付けとなり、それと同時に「共に生きる社会」を身近なものに実感できると考えております。

▽本学の基礎教育および臨床教育によって、病気の治療を目的とする医療施設から生活支援を目的とする福祉施設までの流れ、発達障害や身体障害、高齢期障害など子どもから高齢者までの病気や障害とライフスタイルの関係、そして医療福祉サービスを支える多くの専門職種との連携などが理解されます。

▼学部に入学された皆さんは、これからの四年間、自分が目指す専門学科についての勉強は必須でありますけれども、人と直に接し病気や障害と向き合う仕事ですから、豊かな人間性を養うという意味からも自分の専門以外のことについて幅広い教養を持つことも大切だと思います。それと同時に、ぜひ忘れていただきたくないことは、人間の命の尊さ、あるいは人に対する思いやりということです。

▽また、社会人である大学院生の皆さんは、仕事と研究の両立を図って立派な成果を挙げられることを期待しております。皆さんのご健闘をお祈りいたします。

▼ここでせっかくの機会でありますので、ご臨席の保護者ならびにご家族の皆さんに一言ご挨拶を申し上げます。

▽本学の卒業生もすでに四千人を超え全国の医療福祉の現場で活躍しています。医療や福祉の専門職として学ぶこと、これは先程来、大学の理念に関連して人間中心であるとか、あるいは幅広い教養といった、やや抽象的な言葉でお話をいたしましたが、要は医療や福祉の現場で病に苦しむ人、あるいは障害で悩む人、それらの方と同じ目線で生身の人間として接することができるかどうかということに尽きると私は考えております。

▽改めて申し上げるまでもなく、皆さまのご子弟がわが国際医療福祉大学に在学していることを誇りに思っていただけるよう、私どもは学生の教育にこれからの四年間、全力で取り組むつもりでございますが、皆さんにおかれましては、大学に対するご意見・ご要望などございましたら、遠慮なく私に直接お聞かせいただきますようお願い申し上げまして、ご臨席を頂きました保護者ならびにご家族の皆さんへのご挨拶とさせていただきます。

▼最後に新入生の皆さん、大学は、教育はもとより、施設や設備、必要な情報の提供などあらゆる機会を通じて皆さんの学習のための支援をいたします。しかし、すべては皆さん自身の意欲次第、やる気次第であります。自らを律し、自ら考え、そして自ら学ぶことによって大学は楽しく充実して輝きに満ちた場所になると思います。私は今、ここに並んでいる皆さんが四年後の卒業式でも一人でも欠けることのないようにと心から願っています。これからの四年間を実りあるものとするよう皆さんのご健闘を期待して私の歓迎の挨拶といたします。どうぞ頑張ってください。

新入生誓いの言葉

学部新入生代表

保健学部作業療法学科　新津　由香

▼私たちは、本日ここに国際医療福祉大学の新入生として入学できたことを誇りに思います。同時に、本校の一員となった責任と緊張感をひしひしと感じております。

▼私たちは、国際医療福祉大学に学ぶことに、大きな喜びと期待を持って入学いたしました。先生方の良きご指導の下、多くのことを学び、技術や知識、幅広い教養を身に付けていきたいと思います。また、医療・福祉に携わっていく者として、人をいたわる気持ち、思いやる心を、広い視野で物事をとらえ、固定観念にとらわれない見方を身に付けていきたいと思います。そして、さまざまな分野の人々と友情を育み、切磋琢磨しながら共に成長しあっていきたいと考えております。

これから、何度も壁に行く手を遮られることがあるかもしれません。しかし、その壁を乗り越えたとき、その経験はきっと私たち自身を強くし、将来私たちの大きな力となり支えとなってくれるに違いありません。

▼希望に満ちた大学生活は、今、第一歩を踏み出したばかりです。私たち新入生一同は、決意も新たに目標に向かって一生懸命学業に励みたいと思います。

すがすがしく身の引き締まるようなこの思いをバネに、私たちを必要としてくださる方たちのお役に立つことができる、健康、医療、福祉のプロフェッショナルになれるよう、充実した学生生活を送りたいと思います。

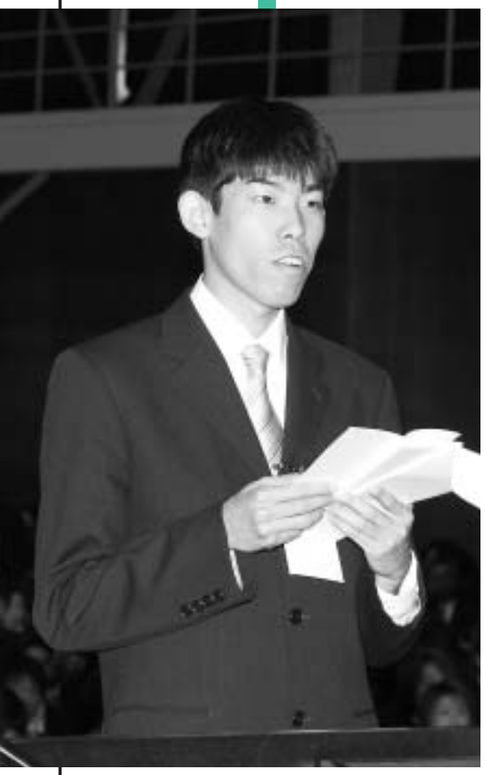
そして、先輩方が築かれた歴史に、また新たな意義ある一ページを加えることをここに誓います。

大学院新入生代表

医療福祉学研究科保健医療学専攻
作業療法学分野
平野　大輔

▼本日は、私たちのためにこのように盛大な入学式を挙行していただき、大学院新入生一同を代表し、心よりあつく御礼申し上げます。また、先ほどより、谷学長をはじめご来賓の方々よりあたたかいご祝辞を賜り、ありがとうございました。

▼美しい山々に囲まれ、豊かな自然に恵まれた広大なキャンパスの中で、優れた先生方にご指導いただけることをありがたく感じております。



▼大学院では、人間中心の理念のもと、各分野を相互に融合・連携し、総合的視野を持ちながらより専門的な知識の習得を目指します。

大学院進学に当たり、仕事との両立という困難に直面する学生が多くおります。そのような中で、本学大学院の教育システムは、サテライトキャンパスでの同時双方向遠隔授業の導入や、おもな授業を夕方に開講するなど、先駆的な試みを積極的に取り入れ、時間による制約を受ける社会人が学びやすい環境の整備がなされております。このような環境の中で、社会に還元できる研究を進めていく所存でございます。

▼国民の、保健・医療・福祉に対する関心が高まる中、これらの分野の専門職の活躍が期待されております。私たちは本学の大学院において、国際的な視野を持ち、保健・医療・福祉の向上に貢献することができるよう勉学に励むことを誓います。

学科別新規着任教員紹介

平成十八年度

Profile
①生年月日／②最終学歴／③専門分野／④前職／⑤主要著書・論文／⑥本校における担当科目／⑦今後の研究課題

■保健学部　看護学科

臨床教授　◀4名

坂主リツ（サカヌシ・リツ）

①1945年11月14日／②国立栃木病院附属看護学校卒／③看護管理／④栃木県厚生連塩谷総合病院看護部長／⑥総合ゼミ（医療事故とコミュニケーション）／⑦隠地実習がクリアできる場づくりと、学生のメンタル面のサポート。就職係として学生の将来まで見据え、職場の選び方を一緒に考え援助する

助教授

郷間悦子（ゴウマ・エツコ）

①1953年9月17日／②放送大学教養学部卒、日本赤十字看護大学大学院看護学研究科地域看護専攻（修士修了／③地域看護学、老年看護学／④国際医療福祉大学保健学部看護学科助教授（H13.3退職、同非常勤講師／⑤在宅ケアにおける介護職と看護職の役割分担と連携の現状と課題／⑥地域看護学概論、地域看護方法論／⑦退院支援に関する評価

■医療福祉学部　医療経営情報学科

教授　◀2名

外山比南子（トヤマ・ヒナコ）

①1943年7月14日／②お茶の水女子大学理学部物理学科卒、東京工業大学大学院物理学専攻（博士修了／③医用画像処理（核医学）、医療情報処理、医療情報システム／④独）放射線医学総合研究所特別上席研究員（情報担当）、医療情報室長（兼）、情報業務室長（兼）、情報利用推進調査課長／⑤データの管理と保管、クリニカルPET（pp47-51、先端医療研究所、医用画像管理システム・量粒子線治療を支援するWeb環境データベース（月刊新医療28(7)、18-20）／⑥情報処理、情報科学／⑦医療の質の向上を目指す医療情報システム、さらには、患者参加型医療情報システムのあり方について

豊田修一（トヨダ・シュウイチ）

①1956年2月26日／②徳島大学工学部情報工学科卒、北海道大学大学院工学研究科情報工学専攻（博士修了、徳島大学大学院工学研究科システム工学専攻（博士）満期退学、工学博士／③医療情報システム／④三洋電機㈱コマーシャル企業グループメディコムビジネスユニット／⑤指示データの集約化・視覚化による診療支援システムの開発、Human Computer Interaction through Consolidation and Visualization for Order Entry Systems／⑥システムアドミニストレータ概論、医療情報システム論／⑦生活習慣病患者に対する診療支援システムの研究、医療データの解析と表現に関する研究

助教授　◀3名

小嶋章吾（コジマ・ショウゴ）

①1957年1月2日／②東京都立大学大学院社会科学研究科社会福祉学専攻（博士）修了／社会福祉士、社会福祉士／③ソーシャルワーク論、医療福祉論／④大正大学、国学院大学大学院社会福祉学専攻（博士）修了／社会福祉士／⑤介護保険時代の医療福祉総合ガイドブック（医学書院）、日本の医療ソーシャルワーク史（川島書店）、社会福祉援助技術演習ワークブック（相川書房）（いずれも共編著）／⑥医療ソーシャルワーク論、社会福祉援助技術演習ⅠA・Ⅱ A、社会福祉援助技術現場実習指導、医療福祉実習B／⑦ソーシャルワークスキルの体系化とトレーニングプログラム開発、医療ソーシャルワーク実践分析

岩坂信子（イワサカ・ノブコ）

①1950年6月26日／②札幌市立高等看護学院卒、北海道医療大学大学院看護福祉学部研究科看護学専攻（修士）修了／③老年看護領域／④愛全会愛全病院管理科長、教育委員長／⑤臨床老年看護論・生きている現場／⑥老年看護概論、生活援助実習B／⑦高齢者の転倒予防に関する看護管理

講師

藤田博曉（フジタ・ヒロアキ）

①1961年6月26日／②専門学校社会医学技術学院理学療法学科卒、国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科保健医療学専攻（修士）修了／③高齢者の理学療法、循環器疾患の理学療法、整形外科疾患の理学療法／④東京都老人医療センター／⑤内部障害理学療法実践マニュアル、大腿骨頸部骨折の術後理学療法における早期経過と歩行到達度との関連／⑥老人理学療法学、循環器理学療法学、運動学実習、理学療法診断学／⑦高齢者の整形外科疾患の機能予後

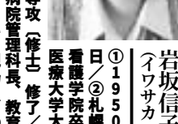
講師　◀1名

森田千晶（モリタ・チアキ）

①1957年4月13日／②東京都立府中リハビリテーション専門学校作業療法学科卒、国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科保健医療学専攻（修士）修了／③身体障害分野（義肢装具・福祉用具）／④（財）シニアライフ振興財団ケアサービス課／⑤筋電義手の利便性の考察、モダンバレー用義手の開発、他／⑥義肢適用論、装具・副子適用論／⑦上肢切断が身体に及ぼす影響、他筋電義手開発関係

■理学療法学科

講師　◀1名



竹内孝仁（タケウチ・タカヒト）

①1941年2月25日／②日本医科大学医学部医学科卒／③リハビリテーション医学／④日本医科大学リハビリテーション科教授／⑤介護基礎学、ケアマネジメント、通所ケア学、ケアマネジメント学／⑥介護福祉学、ケアマネジメント学／⑦介護およびケアマネジメント

野口隆志（ノグチ・タカシ）

①1941年12月1日／②京都薬科大学薬学部薬学科卒、Pacific Western University社会人課程（博士）修了／③医薬品開発概論・実践学、臨床試験（治験）管理学、CRC実践学／④住友製薬㈱理事・本社支配人、昭和大学薬学部客員教授（臨床薬学教室）（兼・非常勤）／⑤医薬品の臨床評価—第Ⅰ相から第Ⅳ相まで—、第一回ICH；21世紀への扉—医薬品産業・ボーダレスの時代へ—、新GCPにおけるCRCの役割、医薬品の臨床試験とCRC—これからの創薬と育薬のために—、治験におけるCRCの役割、薬の事典、医薬品産業の国際調和の歩み（いずれも共著）他／⑥臨床試験研究分野：臨床試験概論Ⅰ・Ⅱ、臨床試験研究特論、臨床試験研究演習Ⅰ・Ⅱ、臨床試験課題研究Ⅰ・Ⅱ／⑦薬学教育における臨床試験管理学、CRC実践学各論、医薬品開発戦略

■作業療法学科

講師　◀1名

森田千穂（シンダ・チホ）

①1965年10月12日／②早稲田大学第一文学部心理学専修卒、東京都立大学大学院東京都老人総合研究所児童学研究科児童学専攻（博士）修了／③地域ケア論／④社会福祉法人かがやき会地域ケア推進研究所研究員、国際医療福祉大学保健学部看護学科非常勤講師、デイサービス石川台小規模職員、大東文化大学文学部教育学科非常勤講師／⑤在宅療養高齢者の看取りを終えた介護者の満足度の関連因子／⑥在宅ターミナルケアに関する全国訪問看護ステーション調査から（厚生の指標51(3)：P18-24）、早期退院における病院との連携を促進する訪問看護ガイドライン作成に関する研究報告書（社）全国訪問看護事業協会／⑥大学院看護学分野演習（研究方法論）／⑦地域ケアにおける実践的研究方法論

藤田千晶（フジタ・チアキ）

①1957年4月13日／②東京都立府中リハビリテーション専門学校作業療法学科卒、国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科保健医療学専攻（修士）修了／③身体障害分野（義肢装具・福祉用具）／④（財）シニアライフ振興財団ケアサービス課／⑤筋電義手の利便性の考察、モダンバレー用義手の開発、他／⑥義肢適用論、装具・副子適用論／⑦上肢切断が身体に及ぼす影響、他筋電義手開発関係

■医療福祉学科

助教授　◀3名

永野なおみ（ナガノ・ナオミ）

①1962年7月5日／②日本社会事業大学社会福祉学部卒、日本社会事業大学大学院社会福祉学研究科社会福祉学専攻（修士）修了／③ソーシャルワーク論／④富山福祉短期大学社会福祉学科専任講師／⑤知的障害者の家族支援に必要とされるもの（富山福祉短期大学紀要）、富山県における女性の就業構造—女性の仕事と子育ての両立を可能にする環境（富山女性財団）／⑥ケースワーク論、社会福祉援助技術論Ⅱ、社会福祉援助技術演習ⅠB、社会福祉援助技術演習ⅡA、社会福祉援助技術演習ⅡB、社会福祉援助技術現場実習・現場実習指導、専門ゼミ、医療福祉実習、卒業研究／⑦医療ソーシャルワークの集団課程のあり方

須藤昌寛（スドウ・アキヒロ）

①1967年3月2日／②筑波大学大学院教育研究科修了、修士（カウンセリング）／③高齢者福祉／④文京区立湯島高齢者在宅サービスセンター介護支援専門員／⑤施設職員のストレスとその対処／⑥社会福祉援助技術演習、社会福祉援助技術現場実習指導、医療福祉実習、老人福祉論、医療福祉実習、卒業研究／⑦介護者への心理的援助に関する研究

講師

伊賀立二（イガ・タツジ）

①1942年9月16日／②東京大学薬学部薬学科卒、東京大学大学院薬学系研究科薬学専門課程（博士）修了／③薬物動態学、臨床薬物動態学／④東京大学医学部教授、東京大学医学部附属病院薬剤部長、国際医療福祉大学客員教授／⑤最新医療薬学Ⅰ（南山堂）、最新医療薬学Ⅱ（南山堂）、疾患と治療薬（南江堂）（いずれも編著）／⑥臨床試験／⑦医薬品の適正使用に関する医療薬学的研究

教授　◀6名

木村哲彦（キムラ・テツヒコ）

①1936年8月4日／②日本医科大学卒／③運動系リハビリテーション分野（学系の境界領域の研究、アウトカムによるリハビリテーション医療の質的評価、医療福祉機器の開発、身体障害リハビリテーションスポーツ）／④北都健勝学園大学設置準備室（教授）、日本医科大学客員教授／⑤生活環境論（医歯薬出版）、リハビリテーション工学（医歯薬出版）、整形外科テキスト（南江堂）、頸髄損傷のリハビリテーション（協同医書）、関節可動域測定法（協同医書）／⑥リハビリテーション医学（学部共通）、リハビリテーション論（PT、OT学部）、リハビリテーション特論（院）、スポーツ医学特論（院）／⑦リハビリテーション医療の質、評価、福祉機器の開発、CRN（Community Rehabilitation Network）確立

竹内孝仁（タケウチ・タカヒト）

①1941年2月25日／②日本医科大学医学部医学科卒／③リハビリテーション医学／④日本医科大学リハビリテーション科教授／⑤介護基礎学、ケアマネジメント、通所ケア学、ケアマネジメント学／⑥介護福祉学、ケアマネジメント学／⑦介護およびケアマネジメント

野口隆志（ノグチ・タカシ）

①1941年12月1日／②京都薬科大学薬学部薬学科卒、Pacific Western University社会人課程（博士）修了／③医薬品開発概論・実践学、臨床試験（治験）管理学、CRC実践学／④住友製薬㈱理事・本社支配人、昭和大学薬学部客員教授（臨床薬学教室）（兼・非常勤）／⑤医薬品の臨床評価—第Ⅰ相から第Ⅳ相まで—、第一回ICH；21世紀への扉—医薬品産業・ボーダレスの時代へ—、新GCPにおけるCRCの役割、医薬品の臨床試験とCRC—これからの創薬と育薬のために—、治験におけるCRCの役割、薬の事典、医薬品産業の国際調和の歩み（いずれも共著）他／⑥臨床試験研究分野：臨床試験概論Ⅰ・Ⅱ、臨床試験研究特論、臨床試験研究演習Ⅰ・Ⅱ、臨床試験課題研究Ⅰ・Ⅱ／⑦薬学教育における臨床試験管理学、CRC実践学各論、医薬品開発戦略

松下年子（マツシタ・トシコ）

①1957年3月16日／②聖路加国際看護大学看護学科卒、東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科心療・緩和医療学専攻（博士）修了／③精神保健、精神看護／④成増厚生病院（精神科急性期病棟）看護師（非常勤）、日本赤十字武蔵野短期大学精神看護学講師（非常勤）／⑤手術を受ける消化器がん患者のQOL（Supportive Care in Cancer、2004）／⑥看護援助学、精神看護学、リエゾン精神看護学／⑦緩和医療と精神保健

島田千穂（シマダ・チホ）

①1965年10月12日／②早稲田大学第一文学部心理学専修卒、東京都立大学大学院東京都老人総合研究所児童学研究科児童学専攻（博士）修了／③地域ケア論／④社会福祉法人かがやき会地域ケア推進研究所研究員、国際医療福祉大学保健学部看護学科非常勤講師、デイサービス石川台小規模職員、大東文化大学文学部教育学科非常勤講師／⑤在宅療養高齢者の看取りを終えた介護者の満足度の関連因子／⑥在宅ターミナルケアに関する全国訪問看護ステーション調査から（厚生の指標51(3)：P18-24）、早期退院における病院との連携を促進する訪問看護ガイドライン作成に関する研究報告書（社）全国訪問看護事業協会／⑥大学院看護学分野演習（研究方法論）／⑦地域ケアにおける実践的研究方法論

池D清信（イケザキ・キヨノブ）

①1953年1月1日／②群馬大学医学部医学科卒／③脳神経外科学／④九州大学大学院医学研究科脳神経外科学教室特別研究生修了、医学博士／③精神障害者の生活技能と探索眼球運動、精神科作業療法の治療構造／④九州保健福祉大学保健科学部作業療法学科助教授／⑤improvement of exploratory eye movements in schizophrenic patient during recovery period／⑥作業障害治療学特論・演習・特別研究／⑦社会生活技能と探索眼球運動（視覚認知機能）

C橋精一郎（タカハシ・セイイチロウ）

①1949年1月30日／②北九州大学外国語学部Ⅱ部米英学科卒、山口大学大学院医学研究科社会医学系専攻（博士）修了／③理学療法学／④九州リハビリテーション大学校理学療法学科助教授／⑤理学療法概論、運動療法Ⅰ（分担執筆、神陵文庫）他、Heart Rate Variability during Cold Water Immersion Test in Patients with Hand-arm Vibration Syndrome、高位頸髄損傷者の呼吸理学療法、他／⑥理学療法治療学特論、理学療法治療学演習、理学療法治療学特別研究／⑦呼吸器疾患における理学療法治療の有効性の検討

中山広宣（ナカヤマ・ヒロノブ）

①1951年1月14日／②久留米大学医学部精神神経科学教室特別研究生修了、医学博士／③精神障害者の生活技能と探索眼球運動、精神科作業療法の治療構造／④九州保健福祉大学保健科学部作業療法学科助教授／⑤improvement of exploratory eye movements in schizophrenic patient during recovery period／⑥作業障害治療学特論・演習・特別研究／⑦社会生活技能と探索眼球運動（視覚認知機能）

■基礎医学研究センター

教授　◀1名

神山隆一（カミヤマ・リュウイチ）

①1938年7月23日／②東京医科歯科大学医学部医科卒、東京医科歯科大学大学院医学研究科形態学系病理学専攻（博士）修了／③人体病理学、特に血液疾患の病理、造血臓器の構造と機能／④東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科生体検査科学専攻分子・遺伝子応用検査医療分子病態検査学分野教授、東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科長併任／⑤骨髄組織病理アトラス（共著・文光堂）、現代病理学大系Ⅰ-SP・B・血液・造血器Ⅰ・Ⅱ（共著・中山書店）、新版日本血液学全書2、造血臓器の構造と組織反応（共著・丸善）、癌の病理組織アトラス（共著・南江堂）、人体組織学第3版（編著・文光堂）、他／⑥病理学、遺伝学／⑦血液疾患の臨床病理学的、分子病理学的研究、骨髄形成症候群における白血病化の機序、造血機、特に骨髄の構造と機能の解析

小林真理子（コバヤシ・マリコ）

①1964年2月25日／②上智大学文学部心理学科卒／③臨床心理学、児童心理学／④足利工業大学非常勤講師、国際医療福祉大学学生相談室非常勤、栃木県スクールカウンセラー／⑤心の病と描画法、母子関係に関するもの／⑥臨床心理学概論、臨床心理学Ⅰ・Ⅱ／⑦投映描画法の臨床的適用、虐待予防を含んだ子育て支援活動・実践研究

三田村治郎（ミタムラ・ジロウ）

①1964年3月3日／②東日本学園大学歯学部歯学科卒、北海道医療大学歯学研究科口腔病理学専攻（博士）修了／③歯科、歯科麻酔／④自治医科大学大宮医療センター麻酔科学講座病院助手／⑤口腔上皮の分化、再生／⑥歯科一般／⑦口腔腫瘍の進展とプロテアーゼとの相関関係

歯科・講師　◀1名

言語聴覚学科長就任あいさつ

藤田郁代

私が本大学に赴任してから、すでに八年が経過しました。本学科の初代学科長は笹沼澄子先生、次の学科長は伊藤元信先生で、両先生ともわが国の言語聴覚障害学領域を築いてこられたトップリーダーです。本領域では、笹沼先生は第一世代、伊藤先生は第二世代、私は第三世代というところでしょうか。

私は本学に来る前、わが国で初めて言語聴覚士教育が始まった国立リハセンター付属学院で一八年間教育に携わってきました。しかし、本学で笹沼先生、伊藤先生と力をあわせて教育に取り組むことができた経験は何物にも替え難いものとなっています。

特に、開学から継続して八年間も教務委員を務めさせていただき、自分の学科の教育だけでなく、総合教育、専門基礎教育、専門教育といった大学全体の教育を見渡す立場から専門職教育のあり方について考え、その実現に向けて他学科教員と協働できたことは大変ありがたかったと思います。

また、日本言語聴覚士協会の会長として領域の積年の難問に取り組み、周囲の方々の理解を得てそれを一つずつ解決していく過程を経験していることは、本学の教育にも反映できるのでないかと思います。

これまでの経験を通じて得たことの一つは、「思考のコペルニクス的転換」こそが難局を打開し、新たなものを創造する力になり得るということです。現状を変えようと思うならば、自分を中心にものごとを考えるのではなく、自分を相対化し、他者との関係において自らの存在意義や役割を認識し、目標に向かって誠実に努力することです。

このコペルニクス的転換思考は臨床においても重要であり、チーム連携をうまく行うにはこのような思考方法が要求されます。これを習得するには、各職種が参加して連携実習を行うことが効果的です。

本学には関連職種の学科が八学科もあり、医療・福祉の大学関連施設も充実しています。平成十八年度には連携実習が始まる予定ですので、今から楽しみにしています。

教育の効果が現れるには一〇年かかるといわれます。本学はまもなく創立一〇周年を迎え、これまで私たちが努力してきたことの真価が問われることになります。この時期に学科長となった責任は重いと思いますが、笹沼先生、伊藤先生に続き、世界で活躍する言語聴覚士を育てることにチャレンジしたいと思います。

皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

■連載エッセイ
ken・bun・roku
見・聞・録
第五回

大学院教授・国際部部長
長谷川 豊

英検一級の値打ち

本学が技術支援していたJICAケニア医療プロジェクトのリーダーとして赴任するとき、ひそかに期待していたことがあった。それは、英検一級を持っていると、JICAの海外手当に二〇％がプラスされるという規定があったからである。一九八四―八六年、JICAの医療協力部長であったときの記憶から、プラスは月額一五万と皮算用した。ところが、赴任時の二〇〇一年では、ケニアシリングが円に対してずっと弱くなっていたため海外手当が二／三に減少、これにリンクする英検プラスは一〇万円に下がっており、英検プラスと併給されないリーダー手当も一〇万円であったため、英検一級のメリットはまったく消滅していた。

その前、一九七四―八四年、私は、WHO本部で、いろいろな環境汚染物質（例、大気中窒素酸化物）について専門家を集めてWHO勧告環境基準報告書を作成する仕事をしていた。WHOではまず私など担当Medical Officerが報告書案のtechnical editingを行い、最後にイギリス人のeditorがlanguage editingをして出版する仕組みになっている。

WHOに赴任当初、私は、自分がtechnical editingした報告書案を、もう直すところはあるまいと自信満々イギリス人editorに出したところ、全頁、真っ赤に訂正されて返ってきた。直されたのを見るとすべてなるほどと思う個所ばかり。WHOで一〇年近くこのような仕事をして、帰国する頃には訂正の割合は一〇分の一ぐらいに減ったが、ゼロにはならなかった。

WHOの出版物はこのように完璧なイギリス英語で書かれているが、WHOのprofessional staffで一番多いアメリカ人はあまり快く思っていない。また、editingにこのように多額の予算を使っても、日本を始めWHO加盟国の七〇％以上が非英語国なので、結局、それぞれの国語に翻訳して利用している。さらにいえば、小学校から英語を教えているイギリスの旧植民地のケニアで、その小学校に入学できる子どもが七〇％（UNESCO、二〇〇〇）。ケニアの貧困層には、スワヒリ語の方がずっと役に立つという現実もある。

筆者がtechnical editingしたWHO出版物とその日本語訳本。

国際医療福祉大学では、地域の方々を対象に、二つの公開講座を開講中です。どなたでも聴講できますので、奮ってご参加ください。

二つの公開講座を開講中！

フジテレビジョン報道局解説委員・キャスター

黒岩祐治氏プロデュース公開講座「いのちの社会学」

■テーマ
このセミナーは私たち日本人のいのちを取り巻く環境について、各界の第一線でご活躍中のゲストのみなさんをお迎えし、多角的に論じていただくものです。

■期日
平成十六年五月二十七日～七月八日、毎週木曜日、午後六時〇〇分～七時三〇分

■会場
国際医療福祉大学大講義室（F一〇一教室）

■受講料
各講座一回五〇〇円（受講料は、当日受付にてお支払いください）

＊＊＊

○第一回　五月二十七日（木）
「いのちを見つめるジャーナリズム」
黒岩祐治（フジテレビジョン「報道2001」キャスター）

○第二回　六月三日（木）
「いのちの絆／北朝鮮拉致被害者家族の思い」
横田滋・早紀江（北朝鮮による拉致被害者家族連絡会代表）

○第三回　六月十日（木）
「いのちを彩る経済」
松本　大（マネックス証券社長）

○第四回　六月十七日（木）
「いのちと安全保障」
森本　敏（拓殖大学教授）

○第五回　六月二十四日（木）
「いのちをかけた外交～奥大使が遺り残したこと」
岡本行夫（外交評論家）

○第六回　七月一日（木）
「いのちを育む農業」
山崎養世（前ゴールドマンサックス投信社長）

○第七回　七月八日（木）
「いのちを見つめるジャーナリズム2」
黒岩祐治（フジテレビジョン「報道2001」キャスター）

【黒岩祐治氏プロフィール】
国際医療福祉大学客員教授。一九五四年神戸市出身。一九八〇年早稲田大学政経学部卒業後、フジテレビジョン入社。三年間の営業部勤務を経て報道記者となり、政治部、社会部、さらに番組ディレクターを経て一九八八年より「FNNスーパータイム」キャスターに。その後、日曜朝の「報道2001」キャスターを五年間務めた後、一九九七年四月よりワシントン駐在。一九九九年より再び「報道2001」キャスターに復帰。著書に「人間はテレビよりスクープだ」（三五館）、「ナースたちの朝」（講談社）「救急医療にメス」（情報センター出版局）、日野原重明先生との対談による「夢を実現するチカラ」（扶桑社）などがある。

毎年恒例

平成十六年度「イブニングタイム公開講座」

■テーマ
高齢者の健康増進―運動の重要性―

■期日
平成十六年五月十八日～七月十三日
毎週火曜日、午後六時三〇分～午後七時三〇分

■会場
国際医療福祉大学大講義室（F一〇一教室）

■受講料
各講座一回五〇〇円（受講料は、当日受付にてお支払いください）

＊＊＊

○第一回　五月十八日（火）
「健康と運動―元気で歩こう」
丸山仁司（国際医療福祉大学保健学部理学療法学科長・教授）

○第二回　六月一日（火）
「元気が出るパワーリハビリ」
竹内孝仁（国際医療福祉大学大学院教授）

○第三回　六月八日（火）
「健康のための呼吸法」
秋山純和（国際医療福祉大学保健学部理学療法学科助教授）

○第四回　六月十五日（火）
「ぼけないための運動」
谷　浩明（国際医療福祉大学保健学部理学療法学科助教授）

○第五回　六月二十二日（火）
「寝たきり予防のために」
潮見泰蔵（国際医療福祉大学保健学部理学療法学科助教授）

○第六回　六月二十九日（火）
「転倒、骨折、そして寝たきり」
藤田博暁（国際医療福祉大学保健学部理学療法学科講師）

○第七回　七月六日（火）
「痛み―腰痛、肩こりなど―」
齋藤昭彦（国際医療福祉大学保健学部理学療法学科助教授）

○第八回　七月十三日（火）
「骨をより強く」
五來逸雄（国際医療福祉大学附属熱海病院教授）

5月18日「健康と運動」について講演する丸山仁司理学療法学科長

問合せ先（二つの公開講座ともに）
〒三二四―八五〇一
大田原市北金丸二六〇〇―一
国際医療福祉大学事務局総務課
電話　〇二八七―二四―三〇〇〇
FAX　〇二八七―二四―三一〇〇
ホームページ　http://www.iuhw.ac.jp

国際医療福祉大学大学院公開講座「乃木坂スクール」が開講

医療機関や企業で働く医療職で、大学院へ通うだけの時間の余裕は無いがもっと勉強したいという意欲を持っている人も多いのではないでしょうか。

そうした人たちのための本格的な生涯学習コース、「国際医療福祉大学大学院乃木坂スクール」が、大学院東京サテライトキャンパスで開かれております。

対象者は、現在、医療に従事している専門職で専門分野の再教育を希望する人、医療に関心があり最近の医療事情を学びたい人、企業で医療関連の仕事に携わっている人などで、医療関係従事者やある程度の専門知識を持っている人であれば、誰でも受講することができます。

講義日程は、前期（二〇〇四年四月 第三週～七月 第二週）と、後期（二〇〇四年 十月第一週～二〇〇五年一月第二週）に分かれていて、社会人が利用しやすい夕方の時間帯に設定されております。受講会場は、大学院東京サテライトキャンパスが基本であるが、大学院本校（大田原）および他のサテライトキャンパス（福岡・熱海）から遠隔授業で受講できるコースもあります。

■詳しい日程、講義内容、受講申込み等の問い合せ先

国際医療福祉大学東京事務所まで。

電　話：〇三―三四七五―七七一〇

ＦＡＸ：〇三―三四七五―七七〇九

メール：nogizaka@iuhw.ac.jp

（事務局　今里光昭）

気軽に学べる専門職のための生涯学習の場

大学院長　開原成允

技術が急激に進歩している現代社会では、大学で学んだ知識や技術だけで専門的な職業を一生続けることはできなくなっています。そのため、絶えず新しい知識・技術を自ら学習することが必要で、これが「生涯学習」に他なりません。

しかし、医療職を考えてみると、それぞれの職能団体が大きな努力をはらっていますが、系統的な生涯学習の場はそれほど多くはありません。私は、大学も今後は通常の学部教育・大学院教育と共に生涯学習の場を提供することが教育機関としての責任ではないかと思っています。

社会人に開かれた大学院もそのような生涯学習の場ですが、二年間大学院に通うことのできる人はまだ多くはありません。大学院に行けなくも時代の進歩を反映した新しい知識・技術を身につける場が必要で、それが「乃木坂スクール」です。

毎週一回夕方二時間半、半年間で一つのまとまった知識が得られるようになっています。今後も魅力的なコースがたくさん開かれますので、ぜひ「乃木坂スクール」を多くの方に紹介してください。

国際協力―中華人民共和国リハビリテーション専門職養成プロジェクト

日本国際協力機構（ＪＩＣＡ）の要請を受けて国際医療福祉大学は、ＰＴ・ＯＴ専門職養成のためのプロジェクト活動に参加している。活動は、北京市の中国リハビリテーション研究センター（ＣＲＲＣ）内で行われており、二年半が経過したところである。これまでに国際医療福祉大学、柳川リハビリテーション学院、福岡国際医療福祉学院のＰＴ・ＯＴ教員各七名が交代で協力してきた。日本側スタッフは、ＰＴ・ＯＴ専門家、調整員の三人である。カウンターパート（Ｃ／Ｐ）に対して四年制大学における国際基準に見合うカリキュラム作成、有能な教員養成、教育技術の向上などについて助言・指導を行っている。

昨年十月に開催された第二回中日リハビリ医学学術シンポジウムには、高木理事長はじめ教職員十六名の参加をいただいた。活動支援として何よりも心強く、また、ありがたく感じた。今年二月にはＣＲＲＣに中国回良玉副首相が来訪した。筆者はＣ／Ｐ教員候補者を指導中であったが「リハビリという崇高な事業に協力をいただき、大変ありがたい」と言葉をいただいた。

国際医療福祉大学はＪＩＣＡを通じてケニアでの実績があり、リハビリ分野における国際協力は本学の使命でもあると強く感じているところである。

（理学療法学科　秋山純和）

右から李ＰＴ（Ｃ／Ｐ）、回副首相、１人おいて後ろ向きが筆者（ＰＴ専門家）

Date:March 3/14

第二回医療経営戦略セミナー開催

―医療経営管理学科主催―

卒業式の余韻の残る三月十四日の日曜日、大田原キャンパスにおいて医療経営戦略セミナーが開催された。本セミナーは日頃の研究成果を地元の医療施設に提供しようと医療経営管理学科が主催したもので、昨年十一月に第一回セミナーを開催して以来二度目の開催になる。当日は快晴ながらも寒風が吹き荒れ、教室の中にまで隙間風が吹き込む寒い日だったが、教室内は外の木枯らしとは無縁の熱気に包まれた。地元栃木県北や福島県を中心に、二三の医療福祉施設から四九名の参加があり、教員や学生、本学科卒業生も加わって、総勢一二〇名以上が集う盛況なセミナーとなった。

翌四月の診療報酬改定を間近に控えた時期ということで、今回のセミナーでは「平成十六年度診療報酬改定への経営対策」という実践的なテーマを掲げた。まず本学科の高橋泰教授が、今回の診療報酬改定が今後の医療提供制度改革にダイレクトにつながっていく道筋を示し、ＤＰＣの解説を交えながら近未来のビジョンを提示した。次に大西正利助教授が、詳細な新旧点数の対比表を示しながら、亜急性期入院医療管理料の新設、手術の施設基準の変更点など、改定の重要ポイントを解説した。

セミナー終了後の参加者アンケートでは、回答者の七～八割の方に、講演内容について「よかった」という評価をいただいた。「今後の方向性を示してくれた」「ＤＰＣが分かった」「詳細な資料が役立つ」「改定ポイントが理解できた」等多数のコメントがあり、次回セミナーにも期待するという声も多々寄せられ、教員学生一同が達成感を味わえた一日だった。

本学科では年に二回をめどに、今後も医療経営戦略セミナーを開催する予定である。究極的には地域医療の質の向上に貢献することを目指して、そろそろ次回の準備を始めようとホットなテーマを物色中だ。

（医療経営管理学科　加藤尚子）

Date:March 3/20・21・22・23

中国リハビリテーションセンターにおける研修報告

三月二十日から二十三日まで、中国リハビリテーションセンターへの研修旅行に参加したので研修内容を報告する。参加者は理学療法学科教職員四名、大学院生三名、学部生二名、学外者一名であった。

現在、中国リハビリテーションセンター（以下リハセンター）には本学から理学療法学科、作業療法学科の教員が派遣されており、留学生であった多くの本学学部卒業生および大学院修了生が勤務している。

本研修旅行の目的は、現地滞在教員および本学卒業生から中国におけるリハビリテーションの現状等の情報提供を受けるとともに、本学卒業生を含めた現地で勤務する者に対して講習会を実施することであった。

まず研修者はリハセンター内リハビリ関連施設を見学し、現地滞在教員および本学卒業生より説明を受けた。一日にリハビリ関連施設を訪れる患者数は約二〇〇名であり、施設規模の大きさとともに患者数の多さが印象に残った。昼食時に本学卒業生による歓迎会が催され、本学教員と卒業生の間で職務内容等に関する情報交換が盛んに行われた。そして、午後から現地滞在教員秋山を中心として理学療法の手技であるＰＮＦの講習会が開かれ、本学卒業生から通訳を受けながら約五〇名の受講者が熱心に講義を受けていた。

今回の研修は三泊四日という短期スケジュールで実施されたが、内容は実に濃く研修者、現地者双方にとって研鑽の機会となった。また余談ではあるが、帰国後熱心に中国語の勉強を始めた者もいる。今後理学療法学科では今回の研修を基本モデルとし、教員および学生を含めて定期的に研修を実施していく予定である。

（理学療法学科　勝平純司）

中国リハセンター内のリハビリ関連施設

Date:April 4/12

薬学部棟の起工式が行われる

本学は、これまでにない薬剤師養成教育をめざし、大田原キャンパスに薬学部を平成十七年度新設予定で準備中である。校舎は、大田原キャンパス内に新しく六階建ての薬学部棟の建設を計画しており、平成十七年三月完成予定。この日は、図書館・大学院棟に隣接した予定地で、高木理事長、谷学長ほか、関係者の出席のもと起工式が行われた。

起工式で鍬を入れる高木理事長

Date:April 4/27

ボランティアサロンを開設

ボランティア委員会では、今年度からの新しい取り組みとして、四月二十七日から、学生ボランティアのための「ボランティアサロン」を開設した。本学はボランティア活動が非常に盛んであり、過去に行った調査では、学生の約半数が二年生までに、何らかのボランティア活動を行っていることが明らかになっている。大学関連施設である国際医療福祉リハビリテーションセンターでは、毎年一五〇人を超える学生がボランティア登録をし、授業の合間の時間を使ってボランティア活動を行っている。また大学内には多様なボランティアサークルが存在し、福祉、医療、保健分野はもちろん、国際、環境、文化、スポーツなど幅広い分野で地域に根づいたボランティア活動を展開している。「ボランティアサロン」の開設は、このような学生のボランティア活動の、さらなる促進を図ることがねらいである。

＊　＊　＊

■サロン開設の目的

①学生のボランティア参加などの相談、情報提供。

②ボランティアに参加する学生同士の話し合い、情報交換の場。

③ボランティア資料の閲覧の場とすること。

■開設日時

毎週火曜日の一二時一五分～一四時まで（前期・後期の授業のある期間）。

■ボランティア相談

一二時一五分～一三時まで。ボランティア委員の教師が交替で担当。

■場所

Ｄ四〇四教室

※予約なしでも、誰でも自由に利用可能。

（ボランティア委員会　大石剛史）

オンライン英語学習がスタート

ＩＴ教育対応の最新装置を備えたＬＬ教室に生まれ変わって一年、必修・選択科目共に、授業で大いに活用されてきたが、今春、「平成十五年度私立大学経常費補助金」の採択を受け、ＬＬ教室に二〇台のパソコンとソフト教材が搬入された。新年度から念願であったオンライン英語学習がスタートした。

ソフト教材は、教育効果の点で定評のあるアルクネットアカデミーの「スタンダードコース」と「ライティング基礎コース」。前者は主にリーディングとリスニング強化プログラムで、個々人の学力に合わせて自主学習ができ、本人の弱点も指摘する機能を備えている。後者は具体的な場面設定により、日常生活、ビジネスシーンで使える英語表現を学習したり、文の塊まりごとに英文を組み立てる訓練を、レベル別に行うことができる教材である。両ソフト共に、学習履歴や進度を見ながら、教員が個人指導に当たり、また、学習者は自分なりの進度で学習できるようになっている。

パソコン台数に限りがあるため、多くの受講者の時間割調整や、セキュリティーを確保するための対応策などの問題があり、その上、教員にとっても今は試行錯誤の段階で、より効果の上がる教育法を構築・模索中である。四月の時点では、ＥＩＩ―五Ａ受講者の個人登録が済み、レベル診断テストに取り組んでいるが、物珍しさも手伝って、学生の集中度、真剣度には目をみはるものがある。

今後、もっと多くの学生、教職員に学習体験をしてもらい、力を伸ばしてもらうことを教育目標に掲げていきたいと考えている。学習者の意見をよく聞き、教育効果を客観的に測り、周囲の方々の理解も得て、さらに発展させたいと望んでいる。

（語学教育センター　田中美子・南井紀子・宮崎路子）

国際医療福祉大学教育後援会名簿

※（再）再任、（新）新任

●平成十六年度幹事

保護者

看護学科
渡邊昭雄（再）・渡宏一（再）
野口志げる（新）
理学療法学科
熊倉政志（再）・小川六也（再）
大柿文男（新）
作業療法学科
横松弘子（再）
荒井隆夫（新）・仁科薫（新）
言語聴覚学科
鳥山勇（再）・伊沢和男（再）
高橋幸枝（新）
視機能療法学科
神藤雅則（再）・磯優（新）
放射線・情報科学科
白ｘ祐一（再）・鈴木正一（再）
吉成誠晃（新）
医療経営管理学科
菅井勤（再）・宗像克治（再）
森嶋幸夫（新）
医療福祉学科
小野寺弘（再）・林田正一（再）
檜山光治（新）

教職員

学長　谷修一
専務理事　長谷川嗣夫
常務理事（学生部長）　伊藤元信
大学院　開原成允
保健学部長（作業療法学科長）　杉原素子
医療福祉学部長（医療福祉学科長）　鈴木五郎
看護学科長　中西睦子
理学療法学科長　丸山仁司
言語聴覚学科長　藤田郁代
視機能療法学科長　新井田孝裕
放射線・情報科学科長　飯沼一浩
医療経営管理学科長　水巻中正
事務局長　高橋勇輔
事務部長　中嶋章浩
経理部長　小泉明
事務部副部長　西留秀二
学生課長　宮下貞男

●平成十六年度役員

会長
宗像克治（医療経営管理学科四年・宗像啓克保護者）（再）
副会長
林田昭一（医療福祉学科新三年・林田典子保護者）（新）
谷修一（国際医療福祉大学学長）（再）
会計
渡邊昭雄（看護学科新四年・渡邊有希保護者）（新）
小泉明（国際医療福祉大学事務局経理部長）（再）
監査
小川六也（理学療法学科新三年・小川澄恵保護者）（新）
高橋勇輔（国際医療福祉大学事務局長）（再）

（学生課　宮下貞男）

平成十六年度　広報委員一覧

ＩＵＨＷは、広報委員の合議により紙面を構成しています。紙面へのご意見・ご要望は、各学科の広報委員、または編集部までお寄せください。

広報委員長　水巻中正
看護学科　阿部智恵子・堤かおり
理学療法学科　藤井菜穂子
作業療法学科　菅原洋子・河野眞
言語聴覚学科　畦上恭彦
視機能療法学科　藤田純子
放射線・情報科学科　菊地義信・宮地幸久
医療経営管理学科　磯伸彦
医療福祉学科　永野なおみ・若倉健
語学教育センター　千葉礼子
情報教育センター　菊地義信
大学院　田中繁

今号は、都合により「人」欄を休みました。なお、次号（五六号）の「人」欄は、杉原素子保健学部長を予定しております。

附属熱海病院

最近の熱海病院の行事から

●四月一日
新年度を迎え診療体制を充実させました。別表の診療体制表をご覧ください。

【呼吸器科】
昨年度まで非常勤医師が週に一回診療していた呼吸器科が、今年度より、常勤医師三名の着任により、毎日診療（土曜日も診療）を行っております。
咳、痰、血痰、息切れ、発熱、胸痛などの症状でお悩みの方はご相談下さい。
また最近増加している肺癌に関する診療も行っております。

【神経内科】
神経内科についても非常勤医師による診療から、常勤医師一名による診療がスタートしております。
神経内科は、月・火・木・金曜日（水・土曜日は休診）の午前中に診療を行っております。

●四月一日
当院では新たに六〇名の新入職員を迎え、本校の辞令交付式に出席いたしました。
この新入職員のうち六名が国際医療福祉大学の卒業生で、院内各部署で活躍を始めました。来年の新病棟オープンに向けて新たな職員と共に準備を進めてまいりたいと考えております。

●五月九日
第四回市民向け『公開講座』が開催されました。
当院の各教授陣が市民の皆様に分かりやすく医療情報を提供する当院の公開講座も第四回目を迎えました。今回は前回に引き続き「生活習慣病」について各科の教授が講演し、雨天にもかかわらず三三〇名の市民の皆様のご参加をいただきました。ご参加いただきありがとうございました。
当院では地域医療に貢献するために今後ともこの「公開講座」を開催してまいります。次回については詳細が決まり次第、ご案内いたします。

（附属熱海病院　本山聡洋）

300人以上の市民が参加した、第4回市民向け「公開講座」

外来診療担当医師一覧表

平成16年5月1日現在

曜日		月		火		水		木		金		土	
診療科		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科		川口（消）	唐澤（消）	川口（消）	春山（消）	唐澤（消）	野澤（消）	川口（消）	北洞（消）	唐澤（消）	春山（消）	川口（消）	北洞（消）
		野澤（消）	北洞（消）	春山（消）	都島（糖・循）	野澤（消）	都島（糖・循）	唐澤（消）	野澤（消）	国枝（循）	国枝（循）	佐々木（循）	―
		築山（循）	築山（循）	築山（循）	重政（循）	生駒（循）	佐々木（循）	築山（循）	佐々木（循）	重政※1	生駒（循）	重政（循）	生駒（循）
		玉城（神内）	―	玉城（神内）	―	北洞（消）	―	玉城（神内）	―	玉城（神内）	―	―	―
		下田（糖）	―	山田（糖）	―	下田（糖）	山田（糖）	山田（糖）	―	下田（糖）	―	山田（糖）	―
		中村（呼）	中村（呼）	高藤（呼）	高藤（呼）	川崎（呼）	川崎（呼）	中村（呼）	田口（呼）	高藤（呼）	高藤（呼）	川崎（呼）	川崎（呼）
外科		岡本	―	岩崎	―	土田	土田（第1・3）	岡本	―	土田	―	岩崎	南（第1・3）
		稲垣	稲垣	南	南	―	岡本（第2・4）	稲垣	稲垣	南	南	―	稲垣（第2・4）
総合診療科		折居	折居	折居	折居	折居	折居	折居	折居	折居	折居	―	―
整形外科		伊藤	伊藤	伊藤	手術	伊藤	―	上杉	手術	上杉	―	1人（交代）	1人（交代）
		江口	―	―		上杉	上杉	―		江口	江口		
泌尿器科		栗山	―	栗山	―	栗山	手術	露崎	露崎	栗山	手術	栗山	栗山
		露崎	露崎	片岡	片岡	露崎		高杉	高杉	露崎		露崎	―
眼科		石川	石川	石川	手術	石川	石川（第2・4）	―	―	石川	手術	石川（第1・3）	石川（第1・3）
		陶山	陶山	陶山		陶山	陶山（第1・3）	陶山	陶山	陶山		陶山（第2・4）	陶山（第2・4）
女性診療科	婦人科	五來	五來	五來	手術	五來	五來	―	―	五來	手術	五來	五來
		田中	田中	田中		―	―	田中	田中	田中		田中	田中
	乳腺外科	北谷	―	北谷	―	北谷	―	北谷	―	北谷	―	―	―
皮膚科		花田	花田※2	佐々木	佐々木※2	佐々木	手術	花田（第1・3）	花田（第1・3）※2	佐々木（第2・4）	佐々木（第2・4）※2	佐々木（第2・4）	1人（交代）※2
		伊東	伊東※2	伊東	伊東※2	花田		伊東	伊東※2	伊東	伊東※2	花田（第1・3）	
		―	―	―	―	―	―	三谷（第2・4）	―	三谷（第1・3）	―	伊東	
小児科		藤澤	藤多	藤澤	藤多	高崎	藤多	藤澤	藤多	乾	藤澤	藤多	藤多
		板倉	乾	十河	高崎※3	乾	十河	高崎	板倉	十河	板倉※3	1人（交代）	1人（交代）
耳鼻咽喉科		―	神_ ※4	神_	手術	―	手術	神_	神_※4	―	―	―	―
		林	林 ※4	林		林		―	―	林	林 ※4	林	検査
放射線科		塩野	塩野	塩野	塩野	―	―	塩野	塩野	塩野	塩野	―	―
ペインクリニック		―	―	奥津	―	―	―	―	―	奥津	―	―	―
リハビリテーション科		―	―	―	―	―	―	―	―	―	木村	―	―
病理		北村	北村	北村	北村	北村	北村	―	―	北村	北村	北村	北村

※1　第1・3・5金曜日の午前診療致します。
※2　皮膚科午後診は原則予約制です。
※3　乳児健診は金曜日の午後2時～午後3時30分、耳鼻咽喉科外来の月曜日午後は補聴器外来、木曜日午後はめまい・難聴外来、金曜日午後はめまい外来で予約制です。

《受診のご案内》
受付時間
午前の部　8:00～12:30
午後の部　月曜日～土曜日　14:00～17:30
診療時間
午後の部　月曜日～土曜日、但し第1・3・5日曜日、祝祭日は休診日　14:00～17:00
※急患の場合は随時受付けておりますので、ご相談下さい。
電話番号　0557―81―9171

Information Nishinasuno 1

国際医療福祉病院

平成十六年度 栃木地区合同オリエンテーション開催

四月一日、平成十六年度新入職者の栃木地区合同オリエンテーションが、西那須野ブロック・大田原ブロックへ入職した一〇八名を対象に国際医療福祉病院で行われました。

オリエンテーションでは佐藤病院長、松田事務局長、マロニエ苑の賀川看護部長等より挨拶・訓示があり、社会人として、また医療人としての心構えや国際医療福祉大学グループの説明などが話され、皆メモを取りながら緊張した面持ちで真剣に聞き入っていました。

オリエンテーションで挨拶する佐藤病院長

不妊外来始まる

四月一日より国際医療福祉病院にて不妊外来が始まりました。外来は火曜日を除く毎日（月曜日～土曜日）行っております。担当の　（やなぎ）田薫先生（国際医療福祉大学教授）は不妊治療では豊富な経験と実績をもっており、近隣地域はもちろん、近隣以外で、不妊でお困りの方からも期待が高まっております。近日中には五階フロアーに不妊センターも開設され、本格的な不妊治療が可能になります。

田薫国際医療福祉大学教授

☆下記案内についての注意☆

※ 1　都合により診療担当医を変更することがあります。
※ 2　14：00～15：00は予防接種の予約外来となります。一般外来は15：00～の予定です。
※ 3　歯科の水曜日、大橋歯科医師の診察は隔週となります。なお、第２週・第４週は非常勤医師の診療があります。
※ 4　本田医師・穂積医師の診療日については、受付にお問合せください。
※ 5　腎臓内科の午前診療は11：00～12：00までは回診のため、休診となります。
※ 6　耳鼻咽喉科：新美医師の診療日につきましては、受付にお問合せ下さい。
（尚、新美医師の診療日には熊埜御堂医師の午後の診療はございません。）
※ 7　西澤医師：診療時間は９時～11時まで、受付は10時30分で終了となります。
※ 8　眼科：高橋医師は第1.3.4週、吉田医師は第1.2.3週となります。なお、第２週・第４週は非常勤医師の診療があります。
※ 9　高橋医師：11時から手術の為、予約のみの外来となります。
※10　小児科：第１・３・５週は嶋岡医師、第２・４週は桃谷医師の診療となります。
※11　初診受付は10時30分まで、再診受付は11時までとなります。
※12　初診受付は15：30まで、再診受付は16：00までとなります。

外来診療のご案内

平成16年5月10日

		月		火		水		木		金		土	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科	消化器・一般①	石塚彰映	吉田徹	富山剛	※14大島里香子	10:00受付終了 谷津美	武藤弘行	富山剛	※14大島里香子	石塚彰映	武藤弘行	武藤弘行	石塚彰映
	消化器・一般②	三木清加							木平健	吉田徹			
	循環器・一般	兼光伯法	大谷買一	兼光伯法	大谷買一	糖尿病外来樋渡正夫	兼光伯法		大谷買一	樋渡正夫	兼光伯法	大谷買一	
	腎臓・一般	10:00～鈴木武志			塚田高樹	受付10時まで鈴木武志		※5塚田高樹		塚田高樹	鈴木武志		塚田高樹
	呼吸器・一般	山田吾郎	田坂登司博		田坂登司博		田坂登司博		山田吾郎	山田吾郎	田坂登司博	山田吾郎	
	内分泌・一般			井上善英					井上善英				井上善英
	神経内科	担当医師	加藤宏之	加藤宏之		加藤宏之		加藤宏之		橋本律夫		橋本律夫	小川朋子
			橋本律夫	小川朋子		小川朋子		橋本律夫				※8 予約のみ西澤正豊	
	心療内科											※4 不確定月2回本田和雄	
脳神経外科		橋本雅章		橋本雅章		担当医師		神田大		橋本雅章	てんかん外来（第2.4週）渡辺高身	橋本雅章	
外科		滝澤公行	交代制	滝澤公行	佐藤知行	荒井渉	荒井渉	佐藤知行	交代制	滝澤公行	滝澤公行	滝澤公行	滝澤公行
		五十嵐敦		佐藤知行	中村英美	五十嵐敦		中村英美		五十嵐敦	五十嵐敦	中村英美	中村英美
												※4 乳腺外来不確定月2回穂積康夫	
胸部外科		村山史雄		村山史雄		村山史雄		手塚康裕		村山史雄		第1週以外村山史雄	
		手塚康裕		手塚康裕						手塚康裕			
整形外科		山口修		山口修		山口修		宮本理		吉川一郎		担当医師	
		宮本理		宮本理				安食孝士					
形成外科		中野峰生	中野峰生		中野峰生	中野峰生	中野峰生	中野峰生	中野峰生				
皮膚科		藤田悦子	15:00～藤田悦子	堀田健人		藤田悦子			堀田健人	藤田悦子	藤田悦子	受付12時まで　担当医師	
腎泌尿器外科		内田克紀		内田克紀		9:30～友部光明		内田克紀		内田克紀		小野澤瑞樹	
				9:30～小野澤瑞樹				9:30～小野澤瑞樹		9:30～小野澤瑞樹			
麻酔科		綿川由紀夫				粕田晴之				綿川由紀夫			
眼科		高橋和晃	高橋和晃	※13高橋和晃		※13高橋和晃		※11高橋和晃		増渕由佳子	増渕由佳子	※10高橋和晃	
		増渕由佳子	増渕由佳子	※13増渕由佳子		※13増渕由佳子		松原忠之				※10増渕由佳子	
	神経眼科・斜視				新井田孝裕		山田徹人		山田徹人				
耳鼻咽喉科		石田孝	石田孝	担当医師		石田孝	石田孝	熊埜御堂浩	熊埜御堂浩	石田孝	石田孝	石田孝	石田孝
		熊埜御堂浩	熊埜御堂浩							熊埜御堂浩	熊埜御堂浩		
											※7不確定月1回（予約制）新美成一		
放射線科		福留潤		福留潤		福留潤		青木幸昌		福留潤			
小児科		田中吾朗	田中吾朗	受付10時まで田中吾朗	※2黒田早恵	田中吾朗	桃谷孝之	※12担当医師	※12担当医師	桃谷孝之	田中吾朗	田中吾朗	嶋岡嗣
		桃谷孝之	小宮山真美	受付10時まで嶋岡嗣	※3桃谷孝之	桃谷孝之	小宮山真美	手塚直美	手塚直美	嶋岡嗣	嶋岡嗣	小宮山真美	黒田早恵
	予約外来					鈴木義之		鈴木義之					
			鈴木義之		鈴木義之		鈴木義之						
					※2田中吾朗								
産婦人科		山田哲夫	山田哲夫	山田哲夫	山田哲夫	山田哲夫		種市明代	種市明代	山田哲夫		山田哲夫	山田哲夫
		種市明代	種市明代		1ヶ月健診島田和彦	種市明代		10:30～佐藤郁夫・島田和彦	斎藤裕	種市明代		種市明代	種市明代
不妊外来		柳田薫	柳田薫			柳田薫	柳田薫	柳田薫	柳田薫	柳田薫	柳田薫	柳田薫	柳田薫
リハビリテーション科		樋渡正夫		10:00まで樋渡正夫		樋渡正夫		10:00まで樋渡正夫		樋渡正夫			
こころのケア・科		関根義夫	関根義夫	関根義夫	関根義夫		関根義夫	大澤卓郎	大澤卓郎	関根義夫	関根義夫		
歯科		松村俊男	松村俊男	大橋一之	松村俊男	第1.3週大橋一之	第1.3週大橋一之	大橋一之	大橋一之	大橋一之	大橋一之	松村俊男	松村俊男
		篠崎泰久	篠崎泰久	松村俊男	小尾友梨	松村俊男	松村俊男	篠崎泰久	篠崎泰久	松村俊男	松村俊男	篠崎泰久	篠崎泰久
		小尾友梨	小尾友梨	小尾友梨		篠崎泰久	篠崎泰久	小尾友梨	小尾友梨	篠崎泰久	篠崎泰久	小尾友梨	小尾友梨
						小尾友梨	小尾友梨						

Information Ohtawara

おおたわら総合在宅ケアセンター

おかげさまで、一周年を迎えました。

おおたわらマロニエデイサービス生活指導員　大貫裕章

介護を必要とする方々が、これまで送ってきた生活を、地域の中で可能な限り生活を継続していただくために昨年四月「おおたわら総合在宅ケアセンター」がオープン致しました。オープン以来、数多くの利用者様のご支持とご支援により一周年を迎えることができました。

通所介護では、総ヒノキ造りの豪華なお風呂を完備して、利用者様の身体を癒し、至福のひと時を味わっていただいております。

四季の行事や地域行事の見学などさまざまな企画をスタッフが考え出して、余暇・娯楽活動の充実を図り、先日は乃木神社へ満開となった桜を見に行って参りました。夏には紫陽花祭りを見物に行ったり、流しそうめんを楽しんだりと四季折々の行事が盛りだくさんで利用者様から好評を得ております。

また、今年から作業療法士が配属となり、通所介護サービスに作業療法を採り入れたリハビリも行うことが可能となり、利用者様から期待されているところです。このようなことから、私たち職員はこれまで以上に明るく質の高い〝個〟を大切にするケアの提供に一丸となり頑張って行く所存です。

通所リハビリテーションでは、〝一日の活動量〟に主眼をおいて、入浴・トイレ・移動すべてがリハビリであるという認識のもとにサービスを提供しています。これらを踏まえ、すべての利用者に対し理学療法および言語療法を採り入れた個別リハビリを実施して、利用者様からは定評をいただいております。

また、今年から常勤の言語聴覚士が加わり、食事摂取面における嚥下指導やアプローチも的確に行えるようになり、幅広い個別リハビリが実施できるようになりました。より質の高いケアが提供できるようスタッフ一同頑張って努力して参ります。活気ある利用者様そして、元気印のスタッフに会いに、皆さんぜひ、一度遊びに来てください。

総ヒノキ造りのお風呂で身体を癒す利用者

Information Sannoh

山王メディカルプラザ

女性腫瘍内分泌センター 新規開設の経緯と科の紹介　その二

センター長・国際医療福祉大学教授　清水敬生

（前号より続く）

病理診断に関しては、子宮体癌に見えて実は癌ではないAtypical polypoid adenomyoma（APAM）という特殊な子宮筋腫は、癌研では私たち婦人科医が一九九七年に初めて診断した。今日までに病理医により子宮体癌と診断された十三名の女性の標本を見直し、APAMであると診断して子宮摘出を回避させ、その内七名で妊娠／出産に成功した。前施設では、婦人科医自らが手術摘出標本の切り出しから所見の記載まで行っていた。

病理診断は診療の基盤であるため、山王メディカルプラザにおいても近い将来、自施設で病理標本処理が可能になることを望む次第である。婦人科癌において治療法が確立されているのは、早期（0、I期）のみである。II期以上は各施設、あるいは各医師により異なる方法で治療されている。

手術に関しては、術式の名称が同様でも、実際に行われる手技が異なる場合が多い。癌の手術において、最も重要な「リンパ節廓清」については、子宮頸癌では骨盤内廓清が行われるが、その摘出範囲は必ずしも統一されていない。

卵巣癌、子宮体癌のリンパ節転移の頻度は、子宮頸癌のそれと同様、あるいはそれ以上であるにもかかわらず、標準術式に組み込まれていないのが現状である。私たちは、前施設で卵巣癌、子宮体癌の進行期ごとに術式を確立し、その一部は米国の癌治療学会（ASCO：American Society of Clinical Oncology：ASCO）のoral sessionで発表した（二〇〇二年）。米国のいくつかの病院では、私たちの発表データをIRBに提出し、卵巣癌のリンパ節廓清を始めたところもあると聞いている。化学療法も確立された治療法（レジメン）は少ない。

婦人科の癌は、同一臓器から発生した癌であっても、組織型により薬剤感受性が異なる事から、組織型により化学療法レジメンを個別化している。また、婦人科癌のkey drugであるcisplatinは分割投与することにより、副作用を軽減し、状態の悪い患者様にも高い抗腫瘍効果が得られるよう工夫している。

山王メディカルプラザには、内科、外科、歯科、精神科、人工透析センター、オンコロジーセンター、ボイスセンター等特徴のある診療科が存在し、検診センターも充実している。私たちも他科の高い診療レベルと共存し、メディカルプラザがさらに特色ある病院として、国内外から認識されるときが来るよう努力していくつもりである。（了）

SKY PerfecTV!

医療福祉チャンネル774NEWS

～ご自宅のテレビで医療、福祉、健康、介護の情報番組、資格受験講座がいつでも見られる！～

国際医療福祉大学医療経営管理学科監修による

医療・福祉施設管理者のための“経営管理講座”、ビデオで誕生！

病院・施設の職員研修に最適！

774 VIDEO LIBRARY

医療福祉経営管理講座

監修代表
水巻中正医療経営管理学科長

各30分・ビデオ全18巻セット　定価 210,000円(本体200,000円＋税5％)

わたしはこのビデオを推薦します。

開原成允大学院長

医療・福祉は激動の時代を迎え、病院や福祉の現場では今や経営管理の知識が不可欠となり、優れたスタッフの確保・育成が急務となってきた。国際医療福祉大学医療経営管理学科の教員を中心とした本講座は、医療福祉経営管理の全体像を理解する良い手引きとなっている。大いに活用されることを願って止まない。

【内容】

第1巻	ガイダンス－日本の医療福祉のあり方
第2巻	経営戦略・マーケティング・地域医療連携－運営から経営へ
第3巻	医療・福祉施設における人事・労務管理－病院の人事・労務はこう変わる
第4巻	患者中心の医療サービス－患者は消費者
第5巻	病院における個人情報保護対策－診療情報は誰のものか
第6巻	医療施設会計－1 －新しい病院会計
第7巻	医療施設会計－2 －原価計算の時代
第8巻	医療施設の資金調達－その問題点と新たな調達手段
第9巻	社会福祉施設における財務会計－新しい会計基準の導入
第10巻	医事管理－病院の収入拡大への道
第11巻	医療情報システム－電子カルテ導入の効果
第12巻	診療記録と診療情報管理士の役割－情報の共有化
第13巻	DPCの動向－DPCが日本の医療を変える
第14巻	物品管理と流通－経営科学的手法の導入
第15巻	これからの病院建築－健院のすすめ
第16巻	医療安全管理－病院の危機管理指針
第17巻	感染管理－予防策が決め手
第18巻	医の倫理－患者の安全と安心

【講師】

第1巻	開原成允	国際医療福祉大学大学院長
第2巻	田村　誠	元医療経営管理学科教授
第3巻	山田康夫	医療経営管理学科助教授
第4巻	加藤尚子	医療経営管理学科専任講師
第5巻	開原成允	国際医療福祉大学大学院長
第6巻	大隈暁子	医療経営管理学科助教授
第7巻	橋口　徹	元医療経営管理学科専任講師
第8巻	河口洋行	医療経営管理学科助教授
第9巻	橋口　徹	元医療経営管理学科専任講師
第10巻	大西正利	医療経営管理学科助教授
第11巻	樺澤一之	医療経営管理学科教授
第12巻	鳥羽克子	医療経営管理学科教授
第13巻	高橋　泰	医療経営管理学科教授
第14巻	佐藤貴一郎	医療経営管理学科教授
	山田康夫	医療経営管理学科助教授
第15巻	長澤　泰	東京大学大学院工学系研究科教授
第16巻	小出大介	東京大学大学院医学系研究科助教授
第17巻	柴田　清	(社)東京都看護協会主任教員
第18巻	水巻中正	医療経営管理学科長

医療・福祉経営管理者のバイブル、待望の四訂版6月刊行！
国際医療福祉大学医療経営管理学科編
『四訂　医療・福祉経営管理入門』
(写真は三訂版)

発行 国際医療福祉大学出版会
定価 3,990円（本体3,800円＋税5%）
ご注文・問い合わせは、03-5414-6098
国際医療福祉大学出版会へ

●医療福祉チャンネルを見るには
「医療福祉チャンネル774」は衛星放送スカイパーフェクTV！の774チャンネルでご視聴いただけます。
ご視聴には、スカイパーフェクTV！専用アンテナ＆チューナーをお部屋のテレビにつなぐだけ！
○視聴料・・・月額2,100円（税込）／法人契約：5,250円（税込）
（このほかに、スカイパーフェクTV！加入料・・・2,940円（税込・初回のみ）・スカイパーフェクTV！月額基本料・・・410円（税込）がかかります。）
○IUHW学生、マロニエ会会員、教育後援会会員の皆様は、特別視聴の制度があります。下記までお問合せ下さい。

●テキストのお申し込み・視聴に関するお問い合せは
フリーダイヤル 0120-870-774（お客さま係）　Eメール info@iryoufukushi.com　ホームページ www.iryoufukushi.com

発行：国際医療福祉大学
編集部
〒107-0062
東京都港区南青山一-二四-一
アミティ乃木坂三階
電話 〇三-五四一四-六〇九八
〒324-8501
栃木県大田原市北金丸二六〇〇-一
国際医療福祉大学内
電話 〇二八七-二四-三〇〇〇
表紙・特集写真：加藤文哉
デザイン：アイ・デフト

IUHW短信

IUHW Note

●「オープンキャンパス」のお知らせ（入試センターより）

国際医療福祉大学では、今年も恒例のオープンキャンパスを実施します。

○日程 第1回 6月26日(土)／第2回 7月31日(土)／第3回 8月4日(水)
第4回 8月28日(土)／第5回 10月16日(土)／第6回 10月17日(日)
※参加者には募集要項を無料配布、事前申込不要・時間内入退場自由

○開催内容 1）体験入学・学科案内：各学科の実習室等での体験入学および学科案内，2）総合ガイダンス：学長・学科長によるガイダンスおよびビデオ上映，3）個別入試相談：教員・職員による個別入試相談会，4）高校教員相談会：高校教員を対象とした入試相談会，5）入試問題集・大学グッズ販売会，6）レストラン・カフェテリア営業，7）学生による受験指導・生活情報・学生生活相談コーナー

☆問い合せ先 ☎ 0287-24-3210（広報室），または☎0287-24-3200（入試課）